

interview

上里工場 場内長（差筋エリリーダー）
千月 由美

2018年に藤工業株式会社へ入社した千月由美さん。現在は上里工場に所属し、9名のチームをまとめるリーダーとして、差筋アンカーの製造に携わっています。忙しく働く千月さんは、どのような姿勢で日々の業務と向き合っているのでしょうか。さまざまなエピソードを聞きながら、知られざる素顔に迫りました。

入社を決めた理由と、現在の業務内容について教えてください。

仕事を探していた際に、藤工業で働いていた兄から紹介されたのがきっかけです。「鉄筋を扱う作業は、女性には難しいのでは……」と不安になりましたが、兄から「大丈夫、できるよ」と背中を押してもらい、入社を決意したのです。

前職は物流関係で、冷蔵庫内でピッキング作業を行っていました。藤工業に入社するまでの職歴は、すべてパートタイマーとしての勤務。安定した収入を望んでいたものの、正社員になるための行動をなかなか起こせずにいました。そうした中で藤工業と出会い、正社員としての責任を重く感

じながらも、充実した毎日に感謝しながら働いています。

現在の業務は、上里工場での差筋アンカー製造。2023年からは、同じ持ち場で働く9名の仲間を取りまとめるリーダーを任されました。1日に決められた目標製造量を達成するために適した人員配置を行い、現場がうまく稼働するように努めています。

仕事をする上で、やりがいを感じるのはどのようなときですか。

リーダーとして、仕事の差配をするときです。人にはそれぞれ向き不向きがあるもの。だからこそメンバーの適性を自分なりに把握し、その人に合った仕事を割り振るように意識しています。人間は口ボットではないため、その時々で体調や精神面での波が起こるのは仕方ありません。さまざまな状況を考慮しながら、的確に指示を出すのは難しくもありますが、同時にやりがいにもつながっています。

また、メンバーの苦手分野を把握した上で意識

しているのが、「できない仕事をそのままにしない」ということ。多少時間がかかっても、丁寧に教えるように気を付けています。業務に余裕があるときには、勉強会も実施。それぞれが未経験だったり、不得手だったりする作業について、しっかりと習得できる機会を設けています。

これまでに失敗した経験があればお聞かせください。

業務上の判断ミスを起こしてしまったときは、心苦しく感じます。特に、人員配置の失敗は苦い記憶です。現場を慌たせさせてしまったり、1日の目標を達成できずに残業させてしまったり……。リーダーとしての的確な判断ができなかった申し訳なさと共に、自分の未熟さを痛感します。

順調に仕事が進まない場面こそ、「冷静さ」が必要です。仲間の体調不良や機械の不具合など、トラブルはなぜか重なることが多く、そうした場合は焦りはさらなるミスを生むもの。これまでの経験から、「不測の事態にどれだけ



落ち着いて対応できるか」が大切だと学んできました。リーダーという立場上、パニックにならずに現場を立て直さなければなりません。なかなか難しいことではありますが、落ち着きを取り戻すために実践しているのが深呼吸。一呼吸置く中で、少し心が静まるのです。

最後に、今後の目標をお願いします。

まずは、皆から頼りにされるリーダーを目指すこと。トラブル時を含め、どのような場合にも的確に指示を出せるように成長していきたいと思えます。外国から来た仲間も多く在籍するため、コミュニケーションの取り方に気を配りながら、協力し合える職場を維持していくつもりです。

また、メンバーが皆、どの作業も行えるように教えることも必須。私たちが取り扱う差筋アンカーは大きく分けて3種類ですが、それぞれの製品にサイズ違いの注文が入るため、複数の加工に精通する必要があります。だからこそ、人材育成はとても重要。できない仕事をなくし、皆がプロフェッショナルにならなければなりません。個々の対応力に差ができてしまえば、特定の人へのみ負担がかかってしまいます。誰か一人に大きなストレスがかからないようにするためにも、チーム全体のスキルアップを目指したいと思えます。

強い責任感を持って職務と向き合い、仲間を牽引する千月さん。これからも仲間を思いやる気持ちと向上心を胸に、新しい挑戦への扉を開きます。

千月さんってどんな人？ 巻頭インタビューに登場した千月さんに向けて、高倉さんからメッセージが届いています！



上里工場
たかくら ひでき
高倉 英樹 さん

千月さんを一言で表すと？

根性姉ちゃん

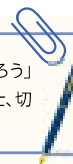
仕事で困ったり、悩んだりしても最後は根性で乗り切ってしまいます。体調を崩しても根性で治します（笑）

千月さんの尊敬しているところ

困難な状況でもいつも明るくふるまい前を向いて進んでいこうとする姿勢。そばで見ていて、自分にはない精神的な強さをもっているところ。見習わなければならないし、とても頼もしく思います。

千月さんへのメッセージ

明るさや前向きな姿勢を見て「自分も頑張ろう」と励みになっています。同じ立場の人間同士、切磋琢磨してお互いに成長していきましょう。



ヒヤリハット ミーティング

全国的に労災事故は年々増加している中、数ある工場の中でも第1工場は事故や労災が数年発生していないため、ヒヤリハットミーティングで取り上げられました。今回はミーティングで話し合われた内容をご紹介します。

労災が発生していない期間



第1工場 場内長
ひらまつ よしえ
平松 佳恵さん

平松さん:入社して1年ほど経過しました。入社前から現在まで事故は起きていません。
星野さん:私は入社から6年経ちますが、事故はありません。
塩賀さん:5年前から事故が起きていません。

実習生の労災が少ない要因

平松さん:他の工場に比べて、変形やバランスの悪いものがないからではないかと思えます。
星野さん:労災報告とは別に、小さなヒヤリハットについても話し合っており、実習生同士で注意し合うこともあり、各自で注意していると感じています。
塩賀さん:私は毎朝欠かさず、朝礼で「今日も怪我をしないようにお願いします」と声かけをしています。また、私では気付かない危険なところを社長や常務、課長が教えてくれるため、事故の芽を摘むことができています。



第1工場 場内長
ほしの ようこ
星野 陽子さん

普段から気をつけていること

星野さん:毎日、体調や集中力の有無に合わせ、自身に対する注意度合いを変えています。また、最近夜勤になったため、定期的に声かけを行って実習生の眠気が強くないかなどを確認しています。
平松さん:物を動かす際に、対応を間違えそうになるときがあります。操作を間違えないように注意したり、近くに人がいるときは「気をつけてね」と声をかけるようにしたりしています。
塩賀さん:出勤したら無災害記録表の日付と達成日数を更新し、工場を見回ります。そのときに気づいたことがあれば、進んで直しています。

最近起こったヒヤリハットの事例

平松さん:足が思ったよりも上がっておらず、角材に足が引っかかり、転びそうになることがあります。
星野さん:つまずいたり、段差などの見えにくい部分で引っかかりたりすることがあります。また、クレーン操作のミスもありました。
塩賀さん:運転手が一本釣りをしている、バランスが崩れてしまい、荷物が少しズレたケースがありました。その場ですぐに「ワイヤーを絞ってください」と注意しましたが、危なかったと思います。



第1工場 工場長
しおが かずよし
塩賀 和義さん

主体的な仕事を行うために気をつけていること

平松さん:研修生が危ない荷物の釣り方をしているときは、気づき次第注意するようにしています。
星野さん:作業時や機械使用時の声かけを行っています。また、労災が発生していなくてもヒヤリハットは発生しているため、労災が発生しないことを当たり前と思わないことが大切です。
塩賀さん:切断機の刃に接するところや、曲げ機のまねき(ローラー部)にも手を入れないように気をつけています。また、溶接では火の粉が飛ぶため、飛び散った火によって火災が発生しないように気をつけるよう注意しています。

他拠点へメッセージ

平松さん:いつ事故が起こるか分からないため、日々気をつけていきたいと思います。
星野さん:各工場でいろいろな対策を行っていると思います。忙しいときや急いでいるときほど一呼吸置き、落ち着いて作業することが大事です。
塩賀さん:本日も怪我をしないで家族の元に帰りましょう。

藤田's TIME

～藤田社長が語ります～

第50期にける想いについて

藤工業株式会社が第50期という節目を迎えるにあたり、藤田社長にその思いや考え方を伺いました。これからの展望やヴィジョン、そして社員へのメッセージなど、社長の率直な思いをお届けいたします。



代表取締役社長
ふじた しずお
藤田 清志さん

藤工業株式会社 第50期にける想いについて

各工場、各部署の自立

各々が自由に意見を述べることでできる環境をつくりたいと思います。そのためには自立を促し、会社のゴールに向かいつつもしっかりとした組織を築くことが重要だと考えます。しかしながら、まだまだトップダウンの必要性もヒシヒシと感じています。組織は個人の集合体であり、個々が成長するためのスキルが向上しない限り、自立を実現することはできません。この

ような自己学習が難しい領域において、コロナ禍となる前に行った研修を再実施し、薄れてしまった思いや考え方、取り組みを強化するなど、会社としてサポートしていく考えです。そして組織の基盤をしっかりと固めていきます。第50期までの約2年間、トップダウンで指示を出しながら各部署、各工場が自立できるよう皆さまと並走して行く考えです。

皆さんへメッセージ

「まずは行動しましょう」

実際に動くことで学び、理解することは、考えることに繋がります。知識と行動が一致しなければ、それは真のスキルとはいえません。「知行合一(ちこうごういつ)」「知は行の始なり、行は知の成るなり、行動を伴わない知識は未完成である」また、考えがあるなら発言することも大切です。「静観より発言(行動)」です。自ら行動し、発言することを心掛けてください。

「会社を好きでいてください」

辛いときは頼れる仲間、周りの方に甘えてください。そして困っている人を見かけたら手を差し伸べてあげましょう。人は完璧でないから少しでも「100%」に近づけるよう「心技体」を学び続けるのです。共に働く仲間感謝の気持ちと謙虚さを常に忘れずにいてください。自部署で働く皆さんに「今日も会社に来てくれてありがとう」を心の中で伝えてあげてください。

3月のお誕生日*

3月にお誕生日を迎えられる皆さん、おめでとうございます！

3/3 しばさき くにこ
柴崎 邦子さん

3/5 いしかわ れいや
石川 怜也さん

3/6 なかじま さとる
中島 悟さん

3/7 さわた みちふみ
澤田 道史さん

3/7 ぐえん うあん ほあん
NGUYEN VAN HOANGさん

3/9 だいぞん じょんせろ ばすてんと
DIZON JOHNCCEL PASUSTENTOさん

3/10 ほあん づあん とうあん
HOANG VAN TUANさん

3/11 えすげらん じょべると かすていろん
ESGUIRAN JOBERT CASTILLONさん

3/12 すずき ひであき
鈴木 英明さん

3/14 とうるべら じょいど れまだ
TURBELA JOED REMADAさん

3/17 ぐえん うあん とう
NGUYEN VAN TUさん

3/19 みやた こういち
宮田 幸一さん

3/19 ながい たろう
永井 太郎さん

3/22 かるふお いあん らちか
GALFO IAN LACHICAさん

3/22 おおうち ゆう
大内 優さん

3/23 こいし あつし
小石 淳さん

3/23 さいとう みずえ
斎藤 瑞恵さん

3/24 ぐいなぼ らいなる じゅにあ はびたな
GUINABO RAINIER JR JAPITANAさん

3/24 ふえひでろ えりぞるで じゅにあ べいろしす
FEGIDERO ELIZALDE JR. BAYLOSISさん

3/26 やすはら よしたか
安原 義貴さん

3/26 おおつか しんいち
大塚 新一さん

3/27 いしげ たかし
石毛 隆之さん

3/29 はらめ けいた
原目 慶太さん

3/29 かさばら まさあき
笠原 成晃さん

3/29 とうにら まーく かさばるな
TRINILLA MARK CASABUENAさん

皆さんおめでとうございます！

